令和４年度　ヘルシーワークプレイス推進委員会　活動報告

■委員名	委 員 長：井上眞由美 副委員長：宮原明美・竹内悦子 委　　員：園田慶子・岡本静香・山中恵・林谷奈津子・濱田啓子・阿波栄子 池澤加代子・山本竜次・勝間収子・小林孝代・大迫しのぶ
■開催回数	７回
■活動目標	１．ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 ２．その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。
■活動内容	１．ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企圃・運営 １）勤務環境改善に取り組む施設の支援 （１）ワーク・ライフ・バランス取り組みについての報告会 次項の「ヘルシーワークプレイス推進研修」にて、「ワーク・ライフ・バランスチャレンジ報告」として、「医療従事者のワーク・ライフ・バランスインデックス調査」を実施した３施設より取組状況の報告を行い、研修参加者と知見を共有した。 （２）ワーク・ライフ・バランスインデックス調査を実施した３施設への訪問支援を実施し、情報の整理や問題の所在、課題の明確化等についてサポートした。 ２）ヘルシーワークプレイス推進研修の実施 テーマ：「ヘルシーワークプレイスの実践知を共有しよう！」 時　期：令和５年２月24日　13：30～16：15 対象者：後輩を持つすべての看護識・看護管理者等・研修テーマに関心のある方（会員・非会員） 内　容：第１部　ワーク・ライフ・バランスチャレンジ報告： 神戸徳洲会病院 土井リハビリテーション病院 東宝塚さとう病院 第２部　講　演：「心理的安全性を高める組織づくり」 講　師：伊藤清子　氏 認定NPO法人横浜こどもホスピス「うみとそらのおうち」理事 元神奈川県立がんセンター副院長 元日本看護協会看護労働委員会副委員長 NPO法人看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会会員 参加申込者：64名（オンライン57名　会場７名） ３）実態調査の結果を踏まえた検討 兵庫県看護協会が実施した実態調査の結果を踏まえ、ヘルシーワークプレイスの現状に関する情報収集を実施し課題を検討する予定であったが、調査の分析が継続中のため未実施である。 ４）関係機関と連携を図る 兵庫県看護協会ナースセンター、兵庫県看護協会各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県保健医療部医務課、兵庫県労働局雇用環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、様々な観点からの情報交換及び議論を踏まえて活動を実施した。

	5）ヘルシーワークプレイスの啓発活動 ヘルシーワークプレイスに関係する資料、リーフレットを研修会で配布した。
■活動の評価	1．ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営 1）勤務環境改善に取り組む施設の支援 施設訪問に加えて適宜電話やメールを用いてサポートに努めると共に、知見共有のための3施設の「ワーク・ライフ・バランスチャレンジ報告」を実施できた。 2）ヘルシーワークプレイス推進研修 講演は、豊富な事例紹介に基づく内容であった。スタッフから管理者までの幅広い参加者から、具体的でわかりやすく多くの気づきがあったとのフィードバックがあった。アンケートでは「活用できる」「だいたい活用できる」が大部分を占め、チャレンジ報告との相乗効果で研修目的は達成できたと考える。 3）実態調査の結果を踏まえた検討 実態調査の分析が継続中であり未実施となった。 4）関係機関との連携 当委員会は、県内の関係諸機関からの人員で構成されており、様々な観点から情報や意見や資料の提供があり、連携は良好に出来ていた。
■今後の課題	ホームページ等を活用した先駆的事例の共有のほか、ヘルシーワークプレイスの啓発方法を検討する。加えて、多岐にわたるヘルシーワークプレイス推進に係る課題を整理し、委員会として取り組む内容を検討する。